

2025年



SUMMER



YA通信

『YA通信』は、和光市図書館の中高生向け情報を
3・6・9・12月の年4回発信している情報誌です。



YAとは、Young Adult(ヤングアダルト)の略称で、中学・高校生を中心とした10代の「子どもでも大人でもない世代」を指した〈若い大人〉という意味を持ちます。

『児童書だと幼すぎるし、一般書だと難しくて読む気にならない…』そんな世代に向けて今話題の本や、進学・職業に関する本、ライトノベルなどを集めた〈YAコーナー〉があります。自分だけの一冊を探しに、図書館に来てみてください。

バトラー

ビブリオバトルの発表者を募集します！

今年も和光市図書館にてビブリオバトルを開催します。
ビブリオバトルとは発表者(バトラー)がおすすめの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介しあう書評ゲームです。
おすすめの本を紹介してくれるバトラーを募集します！

日時／7月20日(日)14:00～15:30

対象／市内在住または在学の中学生・高校生

定員／6名(先着順)

場所／和光市図書館本館 会議室

申込／7月1日(火)9:30～7月8日(火)

メールにて(先着順)

左のQRコードからお申込みください。



はじめてでも大丈夫！
好きな本を
紹介してみませんか？





中高生

ほんの

POP

コンテスト

©和光市図書館



コンテスト参加の流れ

本を選ぶ

和光市図書館(本館、下新倉分館、市内公民館図書室)に所蔵のある本から選ぶ。
※雑誌・漫画は対象外です。

POPを書く

用紙は図書館、学校図書室で配布します！
講座で書いたPOPでもOK

応募用紙を書く ※学校でも配布します。

POPを提出する

図書館本館・分館のカウンターで受付。
POP、応募用紙の2点を提出します。

投票結果 本館にて秋ごろ発表予定！
おたのしみに！



応募・投票期間

応募期間 7月1日(火)～8月31日(日)

投票期間 9月13日(土)～10月8日(水)



POPの書き方

- ・B6サイズの用紙に書いてください。
- ・表面に書名、著者名を書いてください。
- ・サインペン・ボールペン等で清書しましょう。
- ・裏面にペンネームを書いてください。

本のタイトル	
_____	 内容に関連するイラストなど ©和光市

(紹介の文)	

※対象は市内在住・在学の中学生高校生です。

YA
講座

自分の好きを伝えたい！

ほんのPOPづくり講座

今年度の市民図書館講座(中高生向け)は、内田剛先生をお招きし、ほんのPOPづくり講座をします。「人におすすめの本を紹介したい」「POPを書いてみたいけど、やり方が分からない」という方はいますか？はじめてでも簡単に、POPづくりができるようになります。ぜひご参加ください！



作ったPOPは、
コンテストに出す
ことができます！

日付／7月27日(日)

時間／10:00～12:00

定員／30名(先着順)

対象／市内在住・在学の
中学生～高校生

場所／和光市図書館本館 会議室

申込／7月1日(火)9:30～

メール・窓口・電話にて



オ ス ス メ の 一 冊



分館所蔵のオススメ本①

『ひとりあそびの教科書』

宇野 常寛 // 著 河出書房新社

資料コード:12146612(本館) 52016867(分館)

分類:Y790

たくさんの「ひとりあそび」の方法を知ってから大人になる人こそが、世界を面白くできる。

「ひとり」で好きな「もの」をとことん楽しむことで、「みんな」と過ごす時には見えなかった世界が広がり、もっと深く面白いものを見つけ出すことができると語る作者が、その具体的な方法を伝えます。

「みんな」ですることじゃない楽しいことが、この世界にはたくさんある。ほかの人の反応など気にせず、純粋に自分が触れたものに喜びを感じる方法を学んでみましょう。



分館所蔵のオススメ本②

『ヤングタイマーズのお悩み相談室』

石川 宏千花 // 著 くもん出版

資料コード:12148951(本館) 52019427(分館)

分類:Y913

ラジオ番組「放課後の放課後」の「ヤングタイマーズのお悩み相談室」コーナーに寄せられた様々な悩みに、ラジオのパーソナリティーがアドバイスを送ります。

ふたりのパーソナリティーの、ときに真剣、しばし脱線しがちなおしゃべりを聴いているうちに、あなたの悩みもほんの少しだけ軽くなっているかもしれません。

ズバツとお悩み解決はできなくても、きつとなにかに気づくきっかけになる。そんなラジオを聴いてみませんか？リスナー気分で読んでみませんか？



中学生

わたしは食べるのが下手

天川 栄人 // 著
小峰書店



会食恐怖症と摂食障害。食にまつわる悩みを抱えたふたりの中学生が、背中を押してくれる先生や、様々な環境の友だちとのかかわりを通して、正しい“食”との向き合い方にたどり着く様子が描かれています。食べることの大切さを教えてくれる物語です。

スラムに水は流れない
ヴァルシャ バジャージ // 著
村上 利佳 // 訳 あすなろ書房



インドの大都会ムンバイの人口の40%が住んでいるスラムでは、水の供給が少なく水は5%しか供給されていなかった。兄が身をかくし残された少女ミンニが、母が倒れるなど次々とふりかかる試練にまげず、知恵を働かせ難題をのりこえていく青春ストーリー。

鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者
竹内 紘子 // 著 くもん出版



「知の巨人」と言われた、夫の鳥居龍蔵や家族とともに、人類学の研究に取り組み、調査を進めた鳥居きみ子。子どもたちを母として気遣い、励まし、研究者としてやるべき調査を進め、女性の活躍が厳しい時代を生き抜いた、その生涯が描かれています。

高校生

銀河の図書室

名取 佐和子 // 著
実業之日本社



高校の図書室で宮沢賢治を研究する弱小同好会・イーハトー部。ある日、部長だった風見先輩が「ほんとうの幸いは、遠い」というメッセージを残して突然消えてしまった。先輩が残した謎を追う高校生たちを描いた傑作青春小説です。

夜の日記

ヴィーラ ヒランダンニ // 作
山田 文 // 訳 水原 瑞人 // 選
作品社



イギリスからの独立とともに、分かれてしまった祖国。ちがう宗教を信じる者たちが、互いを憎みあい、傷つけあっていく。安全を求め、家族と長い旅に出た少女は、ことばにできない自分の思いを、亡き母にあてて、日記につづる。

「コード」のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて
五十嵐 大 // 著 紀伊国屋書店



聴こえない／聴こえにくい親のもとで育つ聴こえる子ども＝「コード」。ろう者と聴者のはざまで生きる経験を通じ、言語、コミュニケーションの本質や大切さ、自分と異なる人の立場を想像する難しさを知るノンフィクション。